

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調書

4- I -10

4- I -10

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	二次交通の充実・改善
節	I. アクセスルートの整備・来訪者の誘導等		
事業(施策)名	10 路線バス運行計画の推進	事業主体	佐渡市交通政策課
事業実施期間	H28～R6	関連団体	新潟交通佐渡(株)
事業概要	【事業目的】 ○ 繁忙時、冬期を考慮した二次交通の充実を図る。 【事業内容】 ○ 路線バスの効率的な運行、観光客の利便性確保に向けて適切な運行計画の推進を図る。 ○ 路線維持確保のための公的補助等を行う。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 生活交通としてバス路線を維持確保し、輸送需要に応じた効率的な運行体制に転換する。		
これまでの取組実績	○ 島内バス路線を維持確保するため、国・県・市による運行補助を実施。 ○ 二次交通を充実させるため、主要な観光施設への路線バスを迂回・延伸運行を実施。 ○ バスフリー乗車券の販売、モバイルチケットの導入。 ○ 閑散路線のデマンド方式による実証運行を実施。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 路線バスの維持確保のため公的補助の継続 ● 主要観光施設への迂回・延伸運行の継続 ● バスフリー乗車券の販売継続 【R6年度実績】 ● 路線バスの維持確保に向けた公的支援を実施するとともに、二種免許取得費用や奨励金などの補助メニューを新設し、新たに1名の運転手を確保できた。 ● バスの路線を減便するなか、交通事業者の協力により主要観光施設への迂回・延伸運行を継続できた。 本線、南線、小木線において利用者が増加。 前年比:本線364%増、南線175%増、小木線149%増 ● バスフリー乗車券は各月において前年度を上回っている。 前年対比(4月～12月) 109%		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A・<u>B</u>・C] ◇ 公的支援によるバス路線の維持や、バス運転手の新規雇用により次年度以降の二次交通を確保できた。		
課題	■ 路線バスの運転手不足。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。